



12月定例市議会開会

国保財源不足は国の負担増額を

11月26日(水) 12月定例市議会が開会しました。会期は12月18日までの23日間です。

市長提出議案は、条例の一部改正や令和7年度補正予算

など22件です。

市民からの請願は「都市計画審議会への宅地建物取引士

の登用を求める請願」(埼玉県宅地建物取引業協会提出)

「学校の体育館を有効活用し、猛暑から子どもを守り、元気に楽しく過ごせる場所を求める請願」(新日本婦人の会提出)の2件。陳情は「選挙公

報の全戸配布を求める陳情」「春夕の居住者制限の要件緩和を求める陳情」(いずれも提出者は個人)の2件です。日本共産党市議団は、くらし・福祉充実の市政へ、市民の願いを市政に届けてがんばります。

保健センター
土日を休所に

条例改正は、保育施設や放課後児童クラブ設置者に、職員の虐待等が発覚した際「通

報」する義務が新たに設けられました。

ぽぽら6階にある「保健センター」は、現在は土日も開設し、窓口業務をおこなっています。しかし、そのことで

平日の職員体制が手薄になり、がん検診や「パパママ学級」など土日の需要が高い事業の充実が困難なことから、令和8年度から土日を休所とする改正が予定されています。

その他、市立医療センターに「緩和ケア内科」「ペインクリニック内科」の新設。春日部、越谷、三郷、吉川松伏、草加八潮の5消防本部が共同で運営する「東埼玉消防指令センター」の開設に伴う規約の改正。春日部消防団と庄和消防団を統合する改正など。

補正予算は、障害児(者)サービス利用の増加、こども医療費支給件数の増加などで21億4千万円の増額補正となります。国民健康保険は、今年度大幅値上げを行いましたが、財源不足が生じ1億5千萬円一般会計から繰り出します。国民健康保険の加入者は高齢者、自営業、非正規労働者など経済的に不安定ですから、加入者や自治体に負担を求めるのではなく国が大幅に負担を増やすことが必要です。

12月議会の日程
11月26日 議案の上程、説明
12月2日 本会議での質疑
12月4日 常任委員会
12月8、9、11、15、16日 一般質問
12月18日 討論、採決、閉会

*傍聴は市役所5階まで

<生活相談は日本共産党へ>

並木としえ090(3916)0168 大野とし子090(7843)4945

今尾やすのり090(1032)4833 木下みえ子050(3559)1640

日本共産党市議団ホームページ

<https://www.jcp-kasukabe.jp/>



市民の暮らし守る市政に

12月定例市議会一般質問

日本共産党議員が、12月定例市議会で行う一般質問の日程と内容です。

今尾やすのり議員



12月9日(火)
4番目

- 市の責任で、学童保育の充実に「こども・若者計画」の研修の実施を



12月11日(木)
3番目

並木としえ議員

- 小中学校給食費ただちに無償の決断を
- 健康で文化的な生活を保障する生活保護行政に

午前10時議会開会です。
質問・答弁合わせて
1人50分以内。
傍聴受付は、
市役所5階です。
インターネットでも
視聴できます。



12月15日(月)
4番目

木下みえ子議員

- 「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」に基づき、デマンド交通の検討を
- （仮称）かすかべひがし交流センターは市民の声を聞き、願いに沿つたものに



12月15日(月)
1番目

大野とし子議員

- 住宅リフオーム助成の充実と市内事業者支援を
- リサイクルショップは利用者・当事者の希望を最優先に

木下議員が、市内経済活性化に市独自の支援策と拡充を求める。また、施設統合では市民の声を受け止める市政を願い質問します

並木議員は、学校給食費無償化の決断を市長に迫ります。また、生活保護行政に対し安心して使える制度改善を求める。

今回の市議団一般質問のみどころ

今尾議員は、学童保育の充実に子どもの権利擁護の研修を市に対しして求めます。

11/30(日) 内科系 横田医院 (中央1-15-10) ☎ 761-0201

小児科 系ゆりのき医院 (谷原1-16-20) ☎ 752-3535 外科系 分娩館医院 (備後西5-4-28) ☎ 739-3883

12/7(日) 内科系 つちだクリニック (一ノ割1726) ☎ 733-2900 小児科系 宇野クリニック (粕壁1-6-5-2階) ☎ 760-3711 外科系 佐藤整形外科 (大場1385-3) ☎ 731-4550

